



## 1. キャリアラダー

- 埼玉県自治体保健師のキャリアラダーの効果的な活用について
- キャリアレベルの定義及びキャリアレベル分類のための目安
- 埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（専門的能力に係るキャリアラダー）
- 埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（専門的能力に係るキャリアラダー）  
自己チェックリスト
- 埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（専門的能力に係るキャリアラダー）  
自己チェックリスト 記入例
- 埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（管理職保健師に向けた能力に係る  
キャリアラダー）
- 埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（管理職保健師に向けた能力に係る  
キャリアラダー）自己チェックリスト
- 埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（管理職保健師に向けた能力に係る  
キャリアラダー）自己チェックリスト 記入例

## <埼玉県自治体保健師のキャリアラダーの効果的な活用について>

埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（専門的能力に係るキャリアラダー・管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダー）では、より具体的な項目を設定した自己チェックリストを作成しています。

その活用にあたっては、各自治体の実態を踏まえ、効果的な活用方法をそれぞれに検討いただくこととなりますが、ここでは標準的な活用の一例をお示しします。



### 自己チェックの実施時期について

#### (1) 年度当初

- ① 自己チェックを行い、グループリーダー等との面談を実施しましょう。
- ② 自身のキャリアレベルや今年度特に伸ばしたい項目を考慮し、年間の目標や研修の受講計画等を設定しましょう。  
※ 「■資料編■2 キャリアファイル」の「キャリアラダーのレベル設定」のページに、その内容を記入しておきましょう。

#### (2) 中間評価

必要に応じ、年度途中で進捗状況の確認を行いましょう。

#### (3) 年度末

- ① 年度末時点の自己チェックと1年間の振り返りを行い、グループリーダー等と面談を実施しましょう。
- ② 人事異動がある際も、この自己チェックリストを引継ぎ・活用することで、継続的・計画的に能力向上に取り組んでいくことが可能になります。



### 分散配置の保健師について

分散配置の保健師に対しても、統括的役割を担う保健師や保健師人材育成担当課等が面談を実施できる体制を構築できるよう努めましょう。



### 効果的・体系的な人材育成実施のために

#### (1) 人材育成計画作成への活用

人材育成の担当者は、年度当初に実施する自己チェックや面談を、個別の人材育成計画作成に活用しましょう。

#### (2) 統計資料としての活用

統括的役割を担う保健師等は、自分の自治体の自己チェックリストを集計分析し、組織的な傾向を把握しましょう。（例：A－〇期の保健師が多い等）

キャリアレベルの定義及びキャリアレベル分類のための目安

専門職としてのキャリアラダー 管理職としてのキャリアラダー	A-4		A-5		
	A-1	A-2	A-3	A-4	
0JT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターから指導を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターとして指導を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターを支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱達した知識や技術を後輩保健師へ指導する</li> <li>・育成環境の整備</li> </ul>	
専門職としてのキャリアレベルの定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政組織人及び保健師専門職として自覚を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画された担当業務を自立して実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当業務全般を自立して実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属課の指導的役割</li> <li>・自組織を超えた連携・調整</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の担当業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係の担当業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係の担当業務(主担当)施策との関係性を理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の事業全般</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な事例への対応</li> <li>・担当地域の健康課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導を受けて複雑な事例への対応</li> <li>・担当地域の健康課題の優先度判断と解決策立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立して複雑な事例への対応</li> <li>・地域と協働して事業計画を提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑かつ緊急性の高い健康課題への対応</li> <li>・健康課題解決のための施策提案</li> </ul>	
キャリアレベル	A-1	A-2	A-3	A-4	
管理的活動	1.政策策定と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価を踏まえた提案</li> <li>・情報収集・活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係長への準備段階)係員と取り組む担当事業に関するレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し・評価・施策化</li> <li>・係内業務調整</li> <li>・一部外部交渉・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の政策ビジョンに関すること</li> <li>・評価を自治体の計画に反映させる</li> <li>・主に組織内外の調整</li> </ul>
	2.危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な業務を通じた事項・係長への提案</li> <li>・実務関係者との関係構築</li> <li>・有事の際の係長補佐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係内業務に関する事項</li> <li>・人員業務調整</li> <li>・係内業務に関する部下への指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織全体に関する事項</li> <li>・左記事項に関する係長への助言・指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体としての意思決定に関すること</li> </ul>
	3.人事管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を踏まえた業務への取り組み</li> <li>・係長への提案</li> <li>・担当者としての研究への取り組み</li> <li>・人材育成を主体的に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価</li> <li>・係内の業務割り当て</li> <li>・調査研究への助言</li> <li>・人材育成を個別とグループ内の視点で実施</li> <li>・人材育成を組織で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成計画の検討及び会議運営</li> <li>・組織内のこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健康師全体の人事に関すること</li> </ul>

埼玉県自治体保健師のキャリアラダー(専門的能力に係るキャリアラダー)

キャリアレベル					
	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5
所属組織における役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の新任者であり行政組織人及び保健師専門職としての自覚を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画された担当業務を自立して実施する。</li> <li>アブリセプターとして後輩の指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健活動に係る担当業務全般について自立して行う。</li> <li>役割や立場の違いを理解し、つなぎ役としての組織的な役割を担う。</li> <li>自組織を越えたプロジェクトに参画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属係内でチームのリーダーシップをとって保健活動を推進する。</li> <li>キャリアレベルA-5の保健師を補佐する。</li> <li>関係機関との信頼関係を築き協働する。</li> <li>自組織を越えたプロジェクトで主体的に発言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属課の保健事業全般に関して指導的役割を担う。</li> <li>自組織を越えた関係者との連携・調整を行う。</li> </ul>
責任を持つ業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当業務を的確に把握・理解し、個別事例に対して責任を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係の保健事業に係る業務全般を理解し、地域支援活動に係る担当業務に責任を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係の保健事業と施策との関係性を理解し、主担当として担当業務に責任を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課の保健事業に係る業務全般を理解し、その効果的な実施に対して責任を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織横断的な連携を図りながら、複雑かつ緊急性の高い地域の健康課題に対して迅速に対応する。</li> <li>健康課題解決のための施策を提案する。</li> </ul>
専門技術の到達レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な事例への対応を主体的に行う。</li> <li>地域活動を通じて地域特性や地域資源を把握し、地域の人々の健康課題を明らかにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例への対応を必要に応じて指導を受けて実施する。</li> <li>担当地域の健康課題の優先度を判断し、地域の人々の主体性を尊重した対応を立案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例に対して自立して対応する。</li> <li>健康課題を明確にし、チーム内で共有し、地域の人々と協働して事業計画を立案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例に対し、担当保健師等にスーパーバイズすることができる。</li> <li>地域の潜在的な健康課題を明確にし、施策に応じた事業化を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑かつ緊急性の高い健康課題を迅速に明確化し、必要な資源を調整し、効果的な支援を実施できる。</li> </ul>

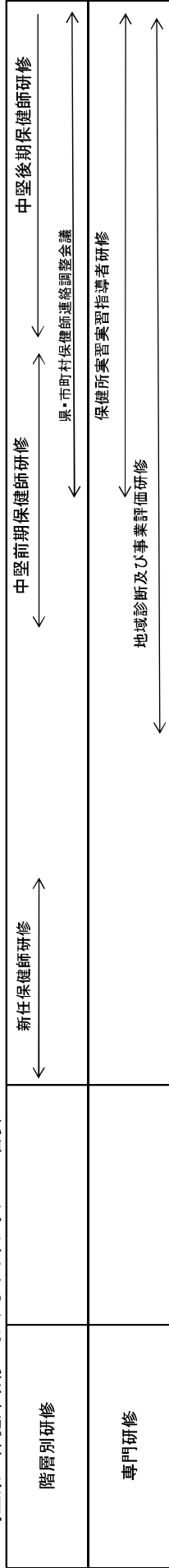
キャリアレベルの定義

保健師の活動領域	各レベルにおいて求められる能力					
	1	2	3	4	5	
1 対人支援活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-1. 個人及び家族への支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>医学や公衆衛生看護学等の専門知識に基づき個人及び家族の健康と生活に関するアセスメントを行う能力</li> <li>個人や家族の生活の多様性を踏まえ、あらゆる保健活動の場面に活用して個人及び家族の主体性を尊重し、課題解決のための支援及び予防的支援を行う能力</li> <li>必要と必要な資源を個人及び家族への支援を行う能力</li> </ul> </li> <li>1-2. 集団への支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>集団の特性を把握し、グループダイナミクスを活用し、集団及び地域の健康度を高められる能力</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人及び家族の健康と生活について分析し健康課題解決のための支援計画を立案できる。</li> <li>個人及び家族の多様性を踏まえ、支援に必要な資源を指導を受けて導入及び調整できる。</li> <li>支援に必要な資源を把握できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例の支援を必要に応じて、指導を受けて実施できる。</li> <li>対象の主体性を踏まえ、支援に必要な資源を指導を受けて導入及び調整できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例のアセスメントを行い、支援を実施できる。</li> <li>支援に必要な資源を適切に導入及び調整できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例の潜在的な健康課題を把握し、予防に係る支援を実施できる。</li> <li>健康課題に予防的に介入できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑かつ緊急性の高い健康課題を迅速に明確化し、必要な資源を調整し、効果的な支援を実施できる。</li> </ul>
2 地域支援活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>2-1. 地域診断・地区活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の健康課題や地域資源を明確化し、地域組織や関係機関と協働して課題解決する能力</li> </ul> </li> <li>2-2. 地域組織活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性を理解し住民と協働して組織化・ネットワーク化を促す能力</li> <li>地域組織を育成し、ネットワーク化を協働して実施する能力</li> </ul> </li> <li>2-3. ケアシステムの構築                             <ul style="list-style-type: none"> <li>健康な暮らしづくりを推進するため保健、医療、福祉、介護等の各種サービスの総合的な調整を行う能力</li> <li>住民、学校、企業ほか、地域の関係機関と協働し連携を図り、地域特性に応じたケアシステムを構築する能力</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団のグループダイナミクスを活用し、特性に応じた支援計画を企画し、自立して実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のグループダイナミクスを分析し、健康課題を明確化できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団への支援を通して、地域の健康課題を明確化することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に潜存する健康課題を把握し、リスクの低減や予防策を計画し実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団への支援を通して立案した事業解決に、住民による地域での健康課題の解決を支援することができる。</li> </ul>

3 3-1. 事業化・施策化	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉施策を理解し、事業を企画立案し、予備を確保できる能力</li> <li>地域の健康課題を解決するため、自組織のビジョンを踏まえ、保健医療福祉施策を提案する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属自治体の施策体系や財政のしくみについて理解できる。</li> <li>担当事業の法的根拠や関連施策について理解し事業を実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当地域の健康課題を把握し、施策と事業との関連性について理解し、たうえて、事業計画立案に参画することができ、</li> <li>担当事業の進捗管理ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の事業の成果や評価等をまとめ、組織内で共有することができる。</li> <li>地域の健康課題を明らかにし、評価に基づき事業の見直しや新規事業計画を提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉計画に基づいた事業計画を立案し、事業や予算の必要性について上司や予算担当者に説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の健康課題を解決するための自組織のビジョンを踏まえ、施策を各種保健医療福祉計画策定時に提案できる。</li> </ul>	
4 4-1. 健康危機管理体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>平時において、地域の健康課題及び関連法規や自組織内の健康危機管理体制等に精通する能力</li> <li>健康危機発生時の対応に、必要な関係者、住民の健康被害を回避し、必要な対応を迅速に判断し実施する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係法規や健康危機管理体制に関するマニュアルを理解できる。</li> <li>健康危機に備えた住民教育を指導を兼ねながら行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機発生後、必要な対応を指導者の指示のもと実施できる。</li> <li>現状を把握し、情報を整理し、上司に報告することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性を踏まえ健康危機の低減のための事業を提案できる。</li> <li>地域特性に応じた健康危機の予防活動を実施し、見直しや新規事業を立案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康被害を予測し、回避するための対応方法について、変化する状況を踏まえて、見直しができる。</li> <li>組織内の関連部署と連携、調整できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有事に起こりうる複雑な状況の対応に備え、平時より関係者との連携体制を構築できる。</li> <li>健康危機管理計画の見直しを計画的に行うことができる。</li> </ul>	
4-2. 健康危機発生時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機発生時に、組織内外の関係者と連携し、住民の健康被害を回避し、必要な対応を迅速に判断し実施する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機発生後、必要な対応を指導者の指示のもと実施できる。</li> <li>現状を把握し、情報を整理し、上司に報告することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機発生後、必要な対応を指導者の指示のもと実施できる。</li> <li>現状を把握し、情報を整理し、上司に報告することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機発生後、必要な対応を指導者の指示のもと実施できる。</li> <li>現状を把握し、情報を整理し、上司に報告することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康被害を予測し、回避するための対応方法について、変化する状況を踏まえて、見直しができる。</li> <li>組織内の関連部署と連携、調整できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有事に起こりうる複雑な状況の対応に備え、平時より関係者との連携体制を構築できる。</li> <li>健康危機管理計画の見直しを計画的に行うことができる。</li> </ul>	
5-1. PDCAサイクルに基づく事業・施策評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属部署内外の関係者とともに、事業計画及び施策評価、保健活動の効果検証を行う能力</li> <li>評価結果等の根拠に基づき事業及び施策の必要を見直しを行う能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルに基づく事業評価方法を理解できる。</li> <li>担当する事例に係る評価結果に基づき変換方法を提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属係内のメンバーと共に担当事業の評価及び見直しを主体的に実施できる。</li> <li>所属係内の事業評価が適切に実施できるよう後進保健師を指導できる。</li> <li>事業計画の立案時に評価指標を適切に設定できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属部署内外の関係者とともに事業計画を行い、事業の見直しや新規事業の計画を提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康被害を予測し、回避するための対応方法について、変化する状況を踏まえて、見直しができる。</li> <li>組織内の関連部署と連携、調整できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価に基づき保健活動の効果を検証し、施策の見直しについて提案できる。</li> <li>施策立案時に評価指標を適切に設定できる。</li> </ul>	
5-2. 情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織内外の保健活動に係る情報を適切に保管、開示、保護する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織における情報管理に係る基本指針を理解し、業務に係る文書等を適切に管理できる。</li> <li>保健活動上知り得た個人情報を適切に取り扱うことができる。</li> <li>業務の記録を適切に行い関係者への情報伝達ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属係内の保健師が規則を遵守して保健活動に係る情報を管理するよう指導できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健活動に係る情報管理上の不測の事態が発生した際に、所属部署内で主導して対応できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健活動に係る情報管理上の不測の事態が発生した際に、所属部署内で主導して対応できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健活動に係る情報管理上の不測の事態が発生した際に、所属部署内で主導して対応できる。</li> </ul>	
5-3. 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の人材育成方針を理解し、保健師の人材育成計画を作成する能力</li> <li>継続的に自己研鑽するとともに、後輩を指導・育成する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の人材育成方針及び保健師の人材育成計画を理解できる。</li> <li>自己の成長を振り返り、次の成長につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後進保健師の指導を通して人材育成上の課題を抽出し、見直しを提示できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後進保健師の指導を通して人材育成上の課題を抽出し、見直しを提示できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の人材育成方針に基づき人材育成計画を作成できる。</li> <li>保健師の研修事業を企画し、実施・評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の人材育成方針に基づき人材育成計画を作成できる。</li> <li>保健師の研修事業を企画し、実施・評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の人材育成方針に基づき人材育成計画を作成できる。</li> <li>保健師の研修事業を企画し、実施・評価できる。</li> </ul>
6. 保健師の活動基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠に基づいた保健師の活動を実施する能力</li> <li>保健師の活動理念である社会的公正性・公共性について理解し、活動を倫理的に判断する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠に基づいた保健活動を実施するための、実施した保健活動の記録を適切に行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究的手法を用いた事業評価ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究的手法を用いた事業評価ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域診断などにおいて研究的手法を用いて分析し、根拠に基づき保健事業を計画できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠に基づき、質の高い保健事業を提案し、その効果を検証できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠に基づき、質の高い保健事業を提案し、その効果を検証できる。</li> </ul>

保健師の活動の理念である社会的公正性・公共性について理解し、活動を倫理的に判断できる

### 埼玉県保健師研修におけるキャリアラダーの目的



埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（専門的能力に係るキャリアラダー）自己チェックリスト

自己評価	コメント欄	他己評価	
		年月日	年月日
1 個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。	個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。 指導を受けながら、講義等の各分野のニーズに着目し、健康・疾病・生活支援の各領域に対応できる。 担当する事例の対象及び関係者について、身体的・心理的・社会的状況を多面的にアセスメントし、支援計画を立てて支援できる。 担当業務に即応する。母子・成人・高齢者・障害者・精神・疾病・感染症・予防保健等の事業に関する基本的な概念や知識を理解する。	A-1	A-5
1 個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。	個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。 指導を受けながら、講義等の各分野のニーズに着目し、健康・疾病・生活支援の各領域に対応できる。 担当する事例の対象及び関係者について、身体的・心理的・社会的状況を多面的にアセスメントし、支援計画を立てて支援できる。 担当業務に即応する。母子・成人・高齢者・障害者・精神・疾病・感染症・予防保健等の事業に関する基本的な概念や知識を理解する。	A-2	A-5
1 個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。	個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。 指導を受けながら、講義等の各分野のニーズに着目し、健康・疾病・生活支援の各領域に対応できる。 担当する事例の対象及び関係者について、身体的・心理的・社会的状況を多面的にアセスメントし、支援計画を立てて支援できる。 担当業務に即応する。母子・成人・高齢者・障害者・精神・疾病・感染症・予防保健等の事業に関する基本的な概念や知識を理解する。	A-3	A-5
1 個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。	個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。 指導を受けながら、講義等の各分野のニーズに着目し、健康・疾病・生活支援の各領域に対応できる。 担当する事例の対象及び関係者について、身体的・心理的・社会的状況を多面的にアセスメントし、支援計画を立てて支援できる。 担当業務に即応する。母子・成人・高齢者・障害者・精神・疾病・感染症・予防保健等の事業に関する基本的な概念や知識を理解する。	A-4	A-5
1 個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。	個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。 指導を受けながら、講義等の各分野のニーズに着目し、健康・疾病・生活支援の各領域に対応できる。 担当する事例の対象及び関係者について、身体的・心理的・社会的状況を多面的にアセスメントし、支援計画を立てて支援できる。 担当業務に即応する。母子・成人・高齢者・障害者・精神・疾病・感染症・予防保健等の事業に関する基本的な概念や知識を理解する。	A-5	A-5
2 地域支援活動	地域の保健活動計画が理解できる。 管内の保健活動計画に関する必要な情報の収集や交換、連絡調整が理解できる。 自分の担当地区（業務）の概要から、健康課題を特定し、地域（業務）の保健活動計画を立案できる。 指導を受けながら、担当地区の健康課題、対象者、関係者、関係機関の概要を把握し、必要な情報収集を行うことができる。	A-1	A-5
2 地域支援活動	地域の保健活動計画が理解できる。 管内の保健活動計画に関する必要な情報の収集や交換、連絡調整が理解できる。 自分の担当地区（業務）の概要から、健康課題を特定し、地域（業務）の保健活動計画を立案できる。 指導を受けながら、担当地区の健康課題、対象者、関係者、関係機関の概要を把握し、必要な情報収集を行うことができる。	A-2	A-5
2 地域支援活動	地域の保健活動計画が理解できる。 管内の保健活動計画に関する必要な情報の収集や交換、連絡調整が理解できる。 自分の担当地区（業務）の概要から、健康課題を特定し、地域（業務）の保健活動計画を立案できる。 指導を受けながら、担当地区の健康課題、対象者、関係者、関係機関の概要を把握し、必要な情報収集を行うことができる。	A-3	A-5
2 地域支援活動	地域の保健活動計画が理解できる。 管内の保健活動計画に関する必要な情報の収集や交換、連絡調整が理解できる。 自分の担当地区（業務）の概要から、健康課題を特定し、地域（業務）の保健活動計画を立案できる。 指導を受けながら、担当地区の健康課題、対象者、関係者、関係機関の概要を把握し、必要な情報収集を行うことができる。	A-4	A-5
2 地域支援活動	地域の保健活動計画が理解できる。 管内の保健活動計画に関する必要な情報の収集や交換、連絡調整が理解できる。 自分の担当地区（業務）の概要から、健康課題を特定し、地域（業務）の保健活動計画を立案できる。 指導を受けながら、担当地区の健康課題、対象者、関係者、関係機関の概要を把握し、必要な情報収集を行うことができる。	A-5	A-5
3 事業化・標準化の活動	管内の保健活動計画と自分の事業との関連性について理解できる。 事業化・標準化の推進体制や財政の仕組みについて理解できる。 担当事業の法的根拠や関連法について理解し、自分の担当業務の位置づけがわかる。 担当事業の目標・活動方針・運営方針等を把握し、事業における成果を測定することができる。 自分が関わっている事業において、チームの一員として分担した役割を果たすことができる。	A-1	A-5
3 事業化・標準化の活動	管内の保健活動計画と自分の事業との関連性について理解できる。 事業化・標準化の推進体制や財政の仕組みについて理解できる。 担当事業の法的根拠や関連法について理解し、自分の担当業務の位置づけがわかる。 担当事業の目標・活動方針・運営方針等を把握し、事業における成果を測定することができる。 自分が関わっている事業において、チームの一員として分担した役割を果たすことができる。	A-2	A-5
3 事業化・標準化の活動	管内の保健活動計画と自分の事業との関連性について理解できる。 事業化・標準化の推進体制や財政の仕組みについて理解できる。 担当事業の法的根拠や関連法について理解し、自分の担当業務の位置づけがわかる。 担当事業の目標・活動方針・運営方針等を把握し、事業における成果を測定することができる。 自分が関わっている事業において、チームの一員として分担した役割を果たすことができる。	A-3	A-5
3 事業化・標準化の活動	管内の保健活動計画と自分の事業との関連性について理解できる。 事業化・標準化の推進体制や財政の仕組みについて理解できる。 担当事業の法的根拠や関連法について理解し、自分の担当業務の位置づけがわかる。 担当事業の目標・活動方針・運営方針等を把握し、事業における成果を測定することができる。 自分が関わっている事業において、チームの一員として分担した役割を果たすことができる。	A-4	A-5
3 事業化・標準化の活動	管内の保健活動計画と自分の事業との関連性について理解できる。 事業化・標準化の推進体制や財政の仕組みについて理解できる。 担当事業の法的根拠や関連法について理解し、自分の担当業務の位置づけがわかる。 担当事業の目標・活動方針・運営方針等を把握し、事業における成果を測定することができる。 自分が関わっている事業において、チームの一員として分担した役割を果たすことができる。	A-5	A-5

<p>4 健康促進活動に関する活動</p> <p>4-1. 健康促進管理の体制整備</p>	<p>別添法律や健康推進計画及び対応マニュアルを念頭に理解できる</p> <p>自分の役割を認識している</p> <p>健康危機に備えた住民教育の必要性がわかる</p> <p>健康危機に備えた研修や訓練に参加できる</p>	<p>他活動に対して想定した健康促進活動や対応マニュアルを念頭に理解できる</p> <p>健康危機に備えた住民教育ができる</p> <p>健康危機に備えた研修や訓練に参加できる</p>	<p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p> <p>健康危機に備えた研修や訓練に参加できる</p>	<p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p> <p>健康危機に備えた研修や訓練に参加できる</p> <p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p>	<p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p> <p>健康危機に備えた研修や訓練に参加できる</p> <p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p>	<p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p> <p>健康危機に備えた研修や訓練に参加できる</p> <p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p>	<p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p> <p>健康危機に備えた研修や訓練に参加できる</p> <p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p>	<p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p> <p>健康危機に備えた研修や訓練に参加できる</p> <p>健康促進管理組織等に参加し、自組織の体制整備に活用できる</p>
<p>5 管理活動</p> <p>5-1. PDCサイクルに基づく事業・事業計画</p> <p>5-2. 情報管理</p>	<p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p>	<p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p>	<p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p>	<p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p>	<p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p>	<p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p>	<p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p>	<p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p> <p>PDCAサイクルに基づき事業・事業計画を立てることができる</p>
<p>6. 保健師の活動全般</p>	<p>ヘルスプロモーションや予防、健康増進に関する基本的な知識や技術を身につけている</p> <p>基本的な知識技術に基づき保健活動が展開できる</p> <p>保健活動実施後、適切に記録を残すことができる</p>	<p>ヘルスプロモーションや予防、健康増進に関する基本的な知識や技術を身につけている</p> <p>基本的な知識技術に基づき保健活動が展開できる</p> <p>保健活動実施後、適切に記録を残すことができる</p>	<p>ヘルスプロモーションや予防、健康増進に関する基本的な知識や技術を身につけている</p> <p>基本的な知識技術に基づき保健活動が展開できる</p> <p>保健活動実施後、適切に記録を残すことができる</p>	<p>ヘルスプロモーションや予防、健康増進に関する基本的な知識や技術を身につけている</p> <p>基本的な知識技術に基づき保健活動が展開できる</p> <p>保健活動実施後、適切に記録を残すことができる</p>	<p>ヘルスプロモーションや予防、健康増進に関する基本的な知識や技術を身につけている</p> <p>基本的な知識技術に基づき保健活動が展開できる</p> <p>保健活動実施後、適切に記録を残すことができる</p>	<p>ヘルスプロモーションや予防、健康増進に関する基本的な知識や技術を身につけている</p> <p>基本的な知識技術に基づき保健活動が展開できる</p> <p>保健活動実施後、適切に記録を残すことができる</p>	<p>ヘルスプロモーションや予防、健康増進に関する基本的な知識や技術を身につけている</p> <p>基本的な知識技術に基づき保健活動が展開できる</p> <p>保健活動実施後、適切に記録を残すことができる</p>	<p>ヘルスプロモーションや予防、健康増進に関する基本的な知識や技術を身につけている</p> <p>基本的な知識技術に基づき保健活動が展開できる</p> <p>保健活動実施後、適切に記録を残すことができる</p>

埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（専門的能力に係るキャリアラダー）自己チェックリスト

自己評価  
毎月日  
キャリアラダー  
記入例

自己評価	キャリアラダー	自己評価	キャリアラダー	自己評価	キャリアラダー	自己評価	キャリアラダー
1 対人支援活動	A-1 個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。	A 個人・家族支援に必要な基礎知識、管内情報を把握している。	A-2 個人・家族の健康問題をアセスメントし、適切な情報等や生活支援が展開できる。	A-3 複雑な事例に対応できる。	A-4 多面的ケースや複雑なケースのマネジメントができる。	A-5 複雑な事例への対応についてスーパーバイザーが得意である。	A-1 毎月日 キャリアラダー 記入例
	A 指導を受けながら、講義等の各分野のニーズに着目し、健康・疾病・障害の各領域に合わせた働きかけができる。	B 指導を受けながら、講義等の各分野のニーズに着目し、健康・疾病・障害の各領域に合わせた働きかけができる。	A 対象者の生活・生活支援の必要性を把握し、適切な支援の提供ができる。	A 対象者の生活・生活支援の必要性を把握し、適切な支援の提供ができる。	A 対象者の生活・生活支援の必要性を把握し、適切な支援の提供ができる。	A 対象者の生活・生活支援の必要性を把握し、適切な支援の提供ができる。	A-2 毎月日 キャリアラダー 記入例
	A 担当する事例の内容及び関係性について、身体的・心理的・社会的に多面的にアセスメントし、支援計画を立てて支援できる。	A 担当する事例の内容及び関係性について、身体的・心理的・社会的に多面的にアセスメントし、支援計画を立てて支援できる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A-2 毎月日 キャリアラダー 記入例
	A 担当業務に即応する。母子・成人・高齢者・障害者・精神・疾病・感染症・精神保健等の事業に関する基本的な概念や知識を理解する。	A 担当業務に即応する。母子・成人・高齢者・障害者・精神・疾病・感染症・精神保健等の事業に関する基本的な概念や知識を理解する。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A-2 毎月日 キャリアラダー 記入例
2 地域支援活動	A 地域での健康活動計画が理解できる。	A 地域での健康活動計画が理解できる。	A 担当地区（業務）の現状や、健康課題を把握し、適切な情報や資料や統計資料を収集できる。	A 担当地区（業務）の現状や、健康課題を把握し、適切な情報や資料や統計資料を収集できる。	A 担当地区（業務）の現状や、健康課題を把握し、適切な情報や資料や統計資料を収集できる。	A 担当地区（業務）の現状や、健康課題を把握し、適切な情報や資料や統計資料を収集できる。	A-2 毎月日 キャリアラダー 記入例
	B 管内の健康課題に対して適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	B 管内の健康課題に対して適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 担当地区（業務）の現状や、健康課題を把握し、適切な情報や資料や統計資料を収集できる。	A 担当地区（業務）の現状や、健康課題を把握し、適切な情報や資料や統計資料を収集できる。	A 担当地区（業務）の現状や、健康課題を把握し、適切な情報や資料や統計資料を収集できる。	A 担当地区（業務）の現状や、健康課題を把握し、適切な情報や資料や統計資料を収集できる。	A-2 毎月日 キャリアラダー 記入例
	A 業務遂行にあたり、住民や関係機関と協力することが重要であることを理解できる。	A 業務遂行にあたり、住民や関係機関と協力することが重要であることを理解できる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A-2 毎月日 キャリアラダー 記入例
	A 担当地区の住民や関係機関のニーズを把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 担当地区の住民や関係機関のニーズを把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A-2 毎月日 キャリアラダー 記入例
3 事業化・標準化の活動	A 管内の健康計画等と自分の事業との関連性について理解できる。	A 管内の健康計画等と自分の事業との関連性について理解できる。	A 担当地区の健康課題、対象者を把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 担当地区の健康課題、対象者を把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 担当地区の健康課題、対象者を把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 担当地区の健康課題、対象者を把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A-1 毎月日 キャリアラダー 記入例
	B 担当地区の健康課題や関係機関のニーズを把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	B 担当地区の健康課題や関係機関のニーズを把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A-1 毎月日 キャリアラダー 記入例
	A 担当地区の健康課題や関係機関のニーズを把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 担当地区の健康課題や関係機関のニーズを把握し、適切な対策を講ずることができ、地域や関係機関と連携して取り組める。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A-1 毎月日 キャリアラダー 記入例
	A 自分が関わっている事業において、チームの一員として分担した役割を果たすことができる。	A 自分が関わっている事業において、チームの一員として分担した役割を果たすことができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A 必要に応じて、関係機関や関係者を利用するために関係者と調整することができる。	A-1 毎月日 キャリアラダー 記入例

ブルダウからA～Dのいずれかを選択します

評価は各分野ごとに違っても構いません。  
「2-2 地域組織・地区活動」はA-2相当だが、  
※ このような例の場合、例えば「今年度は地域組織活動に関する事業に特化的に關与する」等、意識的に分野別の能力育成に努めよう。

年度当初及び年度末に評価者と面談を実施し、評価についてすり合わせを行いましょう

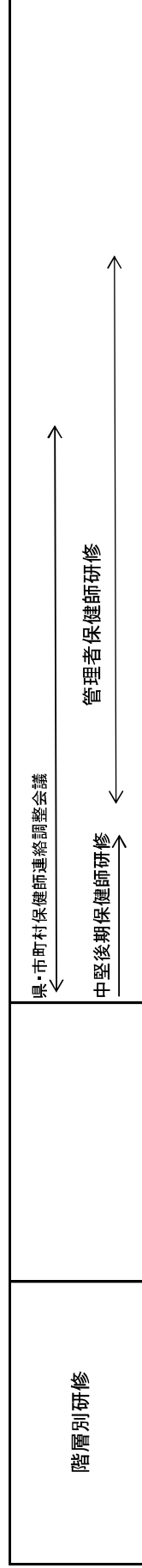
各レベル別項目の中でA～Dが混在している場合の評価（例：A-1、A-2等）については、評価者との面談等で総合的に判断します。なお、D、未経験の項目については、なるべく各保健師が経験を積めるよう、各組織で体制等を記述してください。



埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダー）

		キャリアレベル			
		B-1 (係長級への準備段階)	B-2 (係長級)	B-3 (課長級)	B-4 (部局長級)
保健師の活動領域		各レベルにおいて求められる能力			
管理的活動	求められる能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の動向や自組織の方針を理解し、担当部署に係る活動方針のビジョンを示し、必要に応じた原直しを行う能力</li> <li>自治体を代表して外部機関の上位者との調整や交渉を行う能力</li> </ul>			
	1. 政策策定と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業や施策の評価を踏まえ、係長に保健医療福祉政策に係る提案ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の健康課題等に基づく事業化、施策化及び事業評価に基づく原直しができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉に係る国の動向や組織の方針、施策の評価を踏まえ、組織の政策ビジョンに係る提言ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉政策に係る必要な計画や法制度整備について組織内で提言し、実現に向け組織の意思決定者及び関係機関にはたらきかけができる。</li> </ul>
	2. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理に係る組織内外の関係者を把握し、有事に備えた関係性の構築ができる。</li> <li>危機等の発生時に組織内外の管理職として迅速な判断を行い組織内外の調整を行う能力</li> <li>危機を回避するための予防的措置が行われるよう管理する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係員が危機管理マニュアルに沿って行動できるよう訓練等を企画できる。</li> <li>有事に組織内の人員や業務の調整を行い、課長の補佐や部下への指示ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課員が危機管理マニュアルに沿って行動できるよう各係長級に対し、訓練等の実施を指導できる。</li> <li>有事に、組織の対応方針に基づき、組織内の人的物的資源等の調整や管理ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理に必要な計画・マニュアル・内規等の整備を組織に提言し、具体化することができる。</li> <li>有事に、行政の保健医療福祉組織を代表して、関係機関の代表者と連携し、部局を統括して対応できる。</li> </ul>
3. 人事管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当部署内の全職員の能力・特性を把握し、資質向上のしくみづくりと必要に応じた原直しを行う能力</li> <li>組織目標・計画を踏まえて保健師採用計画・配置基準・人事異動を提言する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の育成方針と保健師の人材向上のための取組を企画、実施、評価できる。</li> <li>係内の業務内容と量を勘案し、人材配置について係長に提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の人材育成計画を策定するための関係者が協働し検討できる場を設けし運営できる。</li> <li>関係課長と連携し、保健師の業務範囲等を踏まえ保健師必要数について人事部門を含め組織内で提言できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織目標・計画を踏まえて、保健師採用計画・配置基準・人事異動を提言できる。</li> </ul>	

埼玉県の保健師研修におけるキャリアラダーの目安



埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダー）自己チェックリスト

保健師の活動領域	キャリアラベル				自己評価 年月日 キャリアレ ベル B-1	コメント欄 記入 されたことを 記入	他已評価 年月日
	B-1 係長級への準備段階（主査・担当係長等）	B-2 係長級（係長・主査・担当係長等）	B-3 課長級（課長・副課長・副所長等）	B-4 副所長級			
保健師の活動領域 行政能力	<p>始業化や休養計画策定に必要な情報を収集し、活用できる</p> <p>課題目的や内容の把握を完了し、必要に応じて関係機関と情報交換ができる</p> <p>事業遂行に必要な予算案を試算し、作成した資料に基づき説明できる</p>	<p>立案された事業やケアプログラム等の遂行計画について適切な助言を与え、必要に応じて計画の修正の指示ができる</p> <p>事業やケアプログラム等の遂行計画の進捗状況を把握し、解決に向けて有効な支援、指導ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連絡調整ができる</p> <p>施設事業や事業体制の再編しに際し取り組み、有効で具体的な指示を出すことができる</p> <p>業務遂行に当たり、時期を見て自ら係長に質問し進捗状況を把握することができる</p> <p>活動に必要な予算案の作成方法を検討し、提案することができる</p>	<p>簡潔化や保護と要配慮に必要となる情報を収集し、資料作成や説明に活用できる</p> <p>各事業の進捗の中で自治体の保健活動の政策評価ができる</p> <p>保健師活動計画に基づく保健活動を分析・評価し、見直しを行うことができる</p> <p>所属内での地区診断を先導できる</p> <p>市町村保健師管理者能力育成研修を受講する</p>	<p>取組した情報に加え、自治体の施策全体に鑑み、大局的な判断ができる</p> <p>分野横断的に、自治体の施策全体の調整ができる</p> <p>必要とされる保健医療福祉政策の実現に向け、組織の意思決定を促し関係機関と調整し連携を強化することができる</p>	<p>年月日 キャリアレ ベル B-1</p>		
行政能力	<p>日頃から所属内の業務について把握し、必要時、関係機関との調整を図ることができる</p> <p>危機管理発生時の指示命令系統、対応、マニュアル等を理解し、有事に活用できる</p> <p>地区診断で明らかになった情報等の中から、地域課題等の把握活動や支援活動に必要な情報を提供できる</p> <p>各キャリア別の研修・会議に参加する</p>	<p>有責に、担当が推進する業務について、具体化し系統立てて説明することができる</p> <p>保健医療発生時の指示命令系統内でのシミュレーションコンを関係機関と交えて企画・評価することができる</p> <p>保健医療発生時に備えた保健活動の体制を把握し、所属の役割に広げ活動や支援活動における役割に必要な準備ができる</p> <p>保健医療発生時に関係機関との連携をとり情報を適切に伝達し、協議し必要な指示を出す</p> <p>平時の活動と危機対応時の運動性を理解し、部下に指示を出す</p> <p>各キャリア別の研修・会議に参加する</p>	<p>自治体に必要な保健計画の策定に参画し、具体的な提案ができる</p> <p>事業の見直しを地域の保健計画に反映することができる</p> <p>地域の健康問題を自治体の保健計画に反映することができる</p> <p>施策の計画を自治体の保健計画へ反映することができる</p> <p>市町村保健師管理者能力育成研修を受講する</p> <p>保健師活動計画を策定することができる</p> <p>保健活動計画に基づき保健活動について、分野横断的に評価・検討し、それを踏まえ、施策に活かすことができる</p> <p>保健活動の優先度を勘案し、事業の企画や評価、予算確保等について指導・助言ができる</p>	<p>取組した情報に加え、自治体の施策全体に鑑み、大局的な判断ができる</p> <p>分野横断的に、自治体の施策全体の調整ができる</p> <p>必要とされる保健医療福祉政策の実現に向け、組織の意思決定を促し関係機関と調整し連携を強化することができる</p>	<p>年月日 キャリアレ ベル B-1</p>		
行政能力	<p>部下の能力を適切に評価し、良質な助言をすることができる</p> <p>部下の能力に際して業務を割り当てる事ができる</p> <p>保健活動に必要なケアチームの育成ができる</p> <p>専門検討会を開催することができる</p> <p>プロジェクトチームと共に（共にプロジェクトとして）保健師育成することができる</p>	<p>部下の能力を高める方向で、業務を割り当てる事ができる</p> <p>部下の能力を高める方向で、業務を割り当てる事ができる</p> <p>事例検討会等とは連携したケアチームに対して、スーパーバイズすることができる</p> <p>各関係者の主体的な活動を支援し、運営のスーパーバイズができる</p> <p>保健活動の体制の整備と研究計画立案の助言ができる</p> <p>担当内での実地、研究発表会、研究広への参加を検討し、主体となってチームをまとめることができる</p> <p>新事業、重点事業について調査研究の視点を持ち取り組むことができる</p> <p>プロジェクトチームへの助言・支援ができる</p>	<p>自治体に必要な保健計画の策定に参画し、具体的な提案ができる</p> <p>事業の見直しを地域の保健計画に反映することができる</p> <p>地域の健康問題を自治体の保健計画に反映することができる</p> <p>施策の計画を自治体の保健計画へ反映することができる</p> <p>市町村保健師管理者能力育成研修を受講する</p> <p>保健師活動計画を策定することができる</p> <p>保健活動計画に基づき保健活動について、分野横断的に評価・検討し、それを踏まえ、施策に活かすことができる</p> <p>保健活動の優先度を勘案し、事業の企画や評価、予算確保等について指導・助言ができる</p>	<p>取組した情報に加え、自治体の施策全体に鑑み、大局的な判断ができる</p> <p>分野横断的に、自治体の施策全体の調整ができる</p> <p>必要とされる保健医療福祉政策の実現に向け、組織の意思決定を促し関係機関と調整し連携を強化することができる</p>	<p>年月日 キャリアレ ベル B-1</p>		
専門能力	<p>日頃から所属内の業務について把握し、必要時、関係機関との調整を図ることができる</p> <p>危機管理発生時の指示命令系統、対応、マニュアル等を理解し、有事に活用できる</p> <p>地区診断で明らかになった情報等の中から、地域課題等の把握活動や支援活動に必要な情報を提供できる</p> <p>各キャリア別の研修・会議に参加する</p>	<p>有責に、担当が推進する業務について、具体化し系統立てて説明することができる</p> <p>保健医療発生時の指示命令系統内でのシミュレーションコンを関係機関と交えて企画・評価することができる</p> <p>保健医療発生時に備えた保健活動の体制を把握し、所属の役割に広げ活動や支援活動における役割に必要な準備ができる</p> <p>保健医療発生時に関係機関との連携をとり情報を適切に伝達し、協議し必要な指示を出す</p> <p>平時の活動と危機対応時の運動性を理解し、部下に指示を出す</p> <p>各キャリア別の研修・会議に参加する</p>	<p>自治体に必要な保健計画の策定に参画し、具体的な提案ができる</p> <p>事業の見直しを地域の保健計画に反映することができる</p> <p>地域の健康問題を自治体の保健計画に反映することができる</p> <p>施策の計画を自治体の保健計画へ反映することができる</p> <p>市町村保健師管理者能力育成研修を受講する</p> <p>保健師活動計画を策定することができる</p> <p>保健活動計画に基づき保健活動について、分野横断的に評価・検討し、それを踏まえ、施策に活かすことができる</p> <p>保健活動の優先度を勘案し、事業の企画や評価、予算確保等について指導・助言ができる</p>	<p>取組した情報に加え、自治体の施策全体に鑑み、大局的な判断ができる</p> <p>分野横断的に、自治体の施策全体の調整ができる</p> <p>必要とされる保健医療福祉政策の実現に向け、組織の意思決定を促し関係機関と調整し連携を強化することができる</p>	<p>年月日 キャリアレ ベル B-1</p>		
専門能力	<p>部下の能力を適切に評価し、良質な助言をすることができる</p> <p>部下の能力に際して業務を割り当てる事ができる</p> <p>保健活動に必要なケアチームの育成ができる</p> <p>専門検討会を開催することができる</p> <p>プロジェクトチームと共に（共にプロジェクトとして）保健師育成することができる</p>	<p>部下の能力を高める方向で、業務を割り当てる事ができる</p> <p>部下の能力を高める方向で、業務を割り当てる事ができる</p> <p>事例検討会等とは連携したケアチームに対して、スーパーバイズすることができる</p> <p>各関係者の主体的な活動を支援し、運営のスーパーバイズができる</p> <p>保健活動の体制の整備と研究計画立案の助言ができる</p> <p>担当内での実地、研究発表会、研究広への参加を検討し、主体となってチームをまとめることができる</p> <p>新事業、重点事業について調査研究の視点を持ち取り組むことができる</p> <p>プロジェクトチームへの助言・支援ができる</p>	<p>自治体に必要な保健計画の策定に参画し、具体的な提案ができる</p> <p>事業の見直しを地域の保健計画に反映することができる</p> <p>地域の健康問題を自治体の保健計画に反映することができる</p> <p>施策の計画を自治体の保健計画へ反映することができる</p> <p>市町村保健師管理者能力育成研修を受講する</p> <p>保健師活動計画を策定することができる</p> <p>保健活動計画に基づき保健活動について、分野横断的に評価・検討し、それを踏まえ、施策に活かすことができる</p> <p>保健活動の優先度を勘案し、事業の企画や評価、予算確保等について指導・助言ができる</p>	<p>取組した情報に加え、自治体の施策全体に鑑み、大局的な判断ができる</p> <p>分野横断的に、自治体の施策全体の調整ができる</p> <p>必要とされる保健医療福祉政策の実現に向け、組織の意思決定を促し関係機関と調整し連携を強化することができる</p>	<p>年月日 キャリアレ ベル B-1</p>		
専門能力	<p>日頃から所属内の業務について把握し、必要時、関係機関との調整を図ることができる</p> <p>危機管理発生時の指示命令系統、対応、マニュアル等を理解し、有事に活用できる</p> <p>地区診断で明らかになった情報等の中から、地域課題等の把握活動や支援活動に必要な情報を提供できる</p> <p>各キャリア別の研修・会議に参加する</p>	<p>有責に、担当が推進する業務について、具体化し系統立てて説明することができる</p> <p>保健医療発生時の指示命令系統内でのシミュレーションコンを関係機関と交えて企画・評価することができる</p> <p>保健医療発生時に備えた保健活動の体制を把握し、所属の役割に広げ活動や支援活動における役割に必要な準備ができる</p> <p>保健医療発生時に関係機関との連携をとり情報を適切に伝達し、協議し必要な指示を出す</p> <p>平時の活動と危機対応時の運動性を理解し、部下に指示を出す</p> <p>各キャリア別の研修・会議に参加する</p>	<p>自治体に必要な保健計画の策定に参画し、具体的な提案ができる</p> <p>事業の見直しを地域の保健計画に反映することができる</p> <p>地域の健康問題を自治体の保健計画に反映することができる</p> <p>施策の計画を自治体の保健計画へ反映することができる</p> <p>市町村保健師管理者能力育成研修を受講する</p> <p>保健師活動計画を策定することができる</p> <p>保健活動計画に基づき保健活動について、分野横断的に評価・検討し、それを踏まえ、施策に活かすことができる</p> <p>保健活動の優先度を勘案し、事業の企画や評価、予算確保等について指導・助言ができる</p>	<p>取組した情報に加え、自治体の施策全体に鑑み、大局的な判断ができる</p> <p>分野横断的に、自治体の施策全体の調整ができる</p> <p>必要とされる保健医療福祉政策の実現に向け、組織の意思決定を促し関係機関と調整し連携を強化することができる</p>	<p>年月日 キャリアレ ベル B-1</p>		
専門能力	<p>部下の能力を適切に評価し、良質な助言をすることができる</p> <p>部下の能力に際して業務を割り当てる事ができる</p> <p>保健活動に必要なケアチームの育成ができる</p> <p>専門検討会を開催することができる</p> <p>プロジェクトチームと共に（共にプロジェクトとして）保健師育成することができる</p>	<p>部下の能力を高める方向で、業務を割り当てる事ができる</p> <p>部下の能力を高める方向で、業務を割り当てる事ができる</p> <p>事例検討会等とは連携したケアチームに対して、スーパーバイズすることができる</p> <p>各関係者の主体的な活動を支援し、運営のスーパーバイズができる</p> <p>保健活動の体制の整備と研究計画立案の助言ができる</p> <p>担当内での実地、研究発表会、研究広への参加を検討し、主体となってチームをまとめることができる</p> <p>新事業、重点事業について調査研究の視点を持ち取り組むことができる</p> <p>プロジェクトチームへの助言・支援ができる</p>	<p>自治体に必要な保健計画の策定に参画し、具体的な提案ができる</p> <p>事業の見直しを地域の保健計画に反映することができる</p> <p>地域の健康問題を自治体の保健計画に反映することができる</p> <p>施策の計画を自治体の保健計画へ反映することができる</p> <p>市町村保健師管理者能力育成研修を受講する</p> <p>保健師活動計画を策定することができる</p> <p>保健活動計画に基づき保健活動について、分野横断的に評価・検討し、それを踏まえ、施策に活かすことができる</p> <p>保健活動の優先度を勘案し、事業の企画や評価、予算確保等について指導・助言ができる</p>	<p>取組した情報に加え、自治体の施策全体に鑑み、大局的な判断ができる</p> <p>分野横断的に、自治体の施策全体の調整ができる</p> <p>必要とされる保健医療福祉政策の実現に向け、組織の意思決定を促し関係機関と調整し連携を強化することができる</p>	<p>年月日 キャリアレ ベル B-1</p>		

埼玉県自治体保健師のキャリアラダー（管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダー）自己チェックリスト

記入例

保健師の活動領域	キャリアレベル				コメント 記入 年月日 年月日 年月日 年月日 年月日 年月日	
	B-1 係長級への準備段階(主査、担当課長等)	B-2 係長級(係長、主査、担当課長等)	B-3 課長級(課長、副長、副課長、副所長等)	B-4 副所長級		
保健師の活動領域	<p>始末化や依頼計画策定に必要な情報を収集し、活用できる</p> <p>課題目的や依頼内容の把握を明示し、必要に応じて関係機関と情報交換ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連携ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連携ができる</p> <p>業務遂行に必要となる予算を試算し、作成した資料に基づき説明できる</p> <p><b>ブルダウンからA~Dのいずれかを選択します(各項目の基準は右欄外&lt;評価&gt;を参照)</b></p>	<p>立案された業務やワークスワープ等の実行計画について適切な助言を与え、必要に応じて計画の修正の指示ができる</p> <p>事業やワークスワープ等の実行計画の進捗状況を把握し、解決に向けて適切な支援、指導ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連携ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連携ができる</p> <p>業務遂行に必要となる予算を試算し、作成した資料に基づき説明できる</p>	<p>立案された業務やワークスワープ等の実行計画について適切な助言を与え、必要に応じて計画の修正の指示ができる</p> <p>事業やワークスワープ等の実行計画の進捗状況を把握し、解決に向けて適切な支援、指導ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連携ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連携ができる</p> <p>業務遂行に必要となる予算を試算し、作成した資料に基づき説明できる</p>	<p>立案された業務やワークスワープ等の実行計画について適切な助言を与え、必要に応じて計画の修正の指示ができる</p> <p>事業やワークスワープ等の実行計画の進捗状況を把握し、解決に向けて適切な支援、指導ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連携ができる</p> <p>必要に応じて、他機関と適切な連携ができる</p> <p>業務遂行に必要となる予算を試算し、作成した資料に基づき説明できる</p>	<p>取得した情報に加え、自治体の施策全般から、保健師の業務に活用できる情報を抽出し、必要に応じて関係機関と情報交換ができる</p> <p>必要とされる保健師業務の業務内容に向け、組織の意思決定を促すための関係機関との調整を行うことができる</p>	<p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p>
行政能力	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>ブルダウンからB-1~B-4のいずれかを選択します</p>	<p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p>
専門能力	<p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>保健活動計画に基づき保健活動を計画・実施できる</p> <p>地域の社会資源の活用ができるように関係機関との調整ができる</p>	<p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p>
行政能力	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>保健活動計画に基づき保健活動を計画・実施できる</p> <p>地域の社会資源の活用ができるように関係機関との調整ができる</p>	<p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p>
専門能力	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>保健活動計画に基づき保健活動を計画・実施できる</p> <p>地域の社会資源の活用ができるように関係機関との調整ができる</p>	<p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p>
行政能力	<p>A</p> <p>B</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>保健活動計画に基づき保健活動を計画・実施できる</p> <p>地域の社会資源の活用ができるように関係機関との調整ができる</p>	<p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p>
専門能力	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>保健活動計画に基づき保健活動を計画・実施できる</p> <p>地域の社会資源の活用ができるように関係機関との調整ができる</p>	<p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p> <p>年月日</p>